

RIHE2020年度第1回公開研究会

新型コロナウイルスをめぐる海外 大学等の動向と見えてきた課題 — ニュース記事・調査報告を中心に— — Trends and Challenges of University Overseas: A Response to COVID-19 — Focusing on both recent news and some reports —

2020年6月10日

イントロダクション：大学の危機かチャンスか？ 小林 信一

広島大学高等教育研究開発センター長
副学長・大学院人間社会科学研究科長



新型コロナウイルスをめぐる海外大学等の動向と見えてきた課題 —ニュース記事・調査報告を中心に— Trends and Challenges of University Overseas: A Response to COVID-19 —Focusing on both recent news and some reports—

2020年度第1回公開研究会をオンラインにて開催しますので、ご案内いたします。

■日時：2020年6月10日（水）16:00～17:00

■場所：Zoomセミナーの為、全てオンラインで開催いたします。

■概要

昨今の新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大によって、高等教育機関は様々な影響を受けている。わが国でも休校措置が取られ、キャンパスへの立ち入りが禁止される危機的状況で、たとえば多くの大学では、オンライン授業を実施し対応し始めている。すべての大学で長期的な対策が求められ、学生の経済支援、メンタル支援等を強化しつつ、一人ひとりの学修・研究活動をどのように保障していくのかを改めて考える時期にきているとも言えよう。そこで、本発表では本年3月中旬から5月下旬までの海外の大学、大学団体等に関するニュース記事や各種の調査報告を整理、検討することで、新型コロナウイルスにおける海外大学等の動きとそこから見えてきた課題を紹介する。アフターコロナを見据えたわが国の大学教育に関する新たな議論を深める一助としたい。

■プログラム

司会 金 良善（広島大学高等教育研究開発センター）

16:00-16:10 『イントロダクション：大学の危機かチャンスか？』

小林 信一（広島大学高等教育研究開発センター）

16:10-16:30 『新型コロナウイルスをめぐる海外大学等の動向と見えてきた課題—ニュース記事・調査報告を中心に—』

蝶 慎一（広島大学高等教育研究開発センター）

16:30-17:00 ディスカッション

■その他

・参加費は無料です。（定員：30名）

・研究会は日本語で行われます。

・本セミナーについては、ウェブ会議システム（Zoomミーティングを予定）を使用して実施いたします。開催時刻までにインターネット環境、PC等端末（Webカメラ、マイクが必要）のご用意をお願いいたします。

・オンラインでの公開研究会は今回が初めての試みのため、不慣れな点も多くみなさんにご不便をおかけするかもしれませんが、ご容赦いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

・お申込み締切は、6月8日（月）です。

・前日までに参加方法のメールが届かない場合は、下記アドレスまでお問合せください。

高等教育研究開発センター <k-kokyo(at)office.hiroshima-u.ac.jp> (at)を@に置き換えてください。

■申込みはセンターHPよりお願いします

<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/2020/06/6-10-seminar/>

Research Institute for Higher Education (RIHE)
<http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/en/>



大学の危機か？チャンスか？

- 公開研究会はセンターの活動の中心
→コロナ時代に公開研究会はほぼ開催不可能
- 若手の交流機会がない←Kimさん



- TV会議に慣れてきたし、オンラインでやってみようか。

いろいろな問題

長時間のTV会議、オンライン授業は疲れる

公衆配信だから著作権上の問題が多い

同時に何人くらい参加できる？同時発言はできる？

事後に、録画を公開するか？

資料配布はどうする？

どの範囲に公開？

そもそも、研究スタイルの変革が必要

研究過程は秘密・結果を発表→研究過程を公開・研究発表時には皆知っている

センター長としては「困った」

どのように？

大学の危機か？チャンスか？

⇒まずはトライアルとしてやってみよう

- ・フォーマット 短時間の発表（最大20分？）
討論を含めて1時間くらい
毎週1回くらい、ほぼ定期的に
いずれ多様化にも挑戦
- ・若手や新人の紹介の場に
- ・大学の中に研究仲間がない孤立する若手の意見交換の場に
- ・アイデア段階のもの、試行的段階のものも

21世紀の研究活動＜ポストコロナの研究活動＞

伝統的な学術雑誌、書籍、学会口頭発表

+ 映像データも重要な研究資源 ← → 映像を活用した研究活動・研究交流